

- ◆ 東北財務局は、仙台市から保育所整備のために国有地(廃止宿舍跡地)を「定期借地」により借り受けたいとの要望(平成26年7月)を受け、**当局管内では初めて**社会福祉法人に対して、**定期借地制度を利用した当該国有地を貸付(27年7月)**。更に、28年3月には、同市に保育所整備用地として、別の国有地(廃止宿舍跡地)を売却。
- ◆ 当局は、地方公共団体と連携を図り、保育所整備用地のニーズに応じて、国有地の優先的な売却や定期借地を活用した貸付を行うなど、国有地を有効に活用して、早期の待機児童の解消に向けた取組に寄与。今後も、地方公共団体との情報共有を図りながら、国有地の有効活用に取り組んでいく。

1. 成果事例の概要等

- 仙台市では、保育所に入所できない待機児童数が全国的にみても多い状況にあることから、保育所整備が喫緊の課題となっていた。
- こうした中、平成26年7月に、同市から東北財務局に保育所整備のため、仙台市中心部に位置する廃止宿舍跡地2物件(国有地)について、同市が選定した社会福祉法人が「定期借地」(注)により借り受けたいとの要望があった。

(注)定期借地制度とは…
地主と借主との間で一定の契約期間を定め、契約期間終了時の更地返還を条件として土地を賃貸借する制度。借主にとっては貸付期間が保証されるため事業計画が立てやすく、また、土地を購入する必要がなく初期投資の費用が抑えられるのがメリット。

- 当局では、同市における待機児童解消の一助につながり、地域や社会のニーズに対応した国有地の有効活用が図られることから、当該国有地について、同市が選定した社会福祉法人2団体とそれぞれ貸付契約を締結(27年7月)。なお、同市の取組により、待機児童数は27年には減少に転じている。

【国有財産の概要】
・所在地:①仙台市青葉区錦町1-189-1
つづがおか
②仙台市宮城野区榴岡5-7-1
・区分:①②とも 土地(宅地)
・数量:①810.88㎡ ②842.65㎡

【待機児童データ】

・仙台市の待機児童数の推移
(各年4月1日現在)

	待機児童数
平成24年	410人
平成25年	533人
平成26年	570人
平成27年	419人

・全国の待機児童数が多い市区町村
(27年4月1日現在)

市区町村名	待機児童数(対前年増減)
世田谷区	1,182人(+73人)
船橋市	625人(+302人)
那覇市	539人(+100人)
大分市	484人(+442人)
仙台市	419人(▲151人)

国有地の提供により、地域や社会のニーズに貢献

2. これまでの取組の成果等

- 当局は、**27年7月**、仙台市が選定した社会福祉法人2団体との間で、**当局管内では初となる定期借地制度を利用した国有地の貸付契約**(貸付期間:30年間)を締結。
- 社会福祉法人2団体は、それぞれ定員70名規模の保育所を建設し、28年4月から開所。



①錦町保育園イメージ図



②榴岡保育園イメージ図

- また、当局では、保育所整備用地として、同市に別の国有地(廃止宿舍跡地)を売却し、待機児童解消に向けた取組に寄与。

【国有財産の概要】

・所在地:仙台市若林区古城3-311-29
・数量:2,200.00㎡
・沿革:廃止宿舍跡地
・区分:土地(宅地)
・売却:28年3月

- 当局は、地方公共団体と連携を図り、保育所整備用地のニーズに応じて、国有地の優先的な売却や定期借地を活用した貸付を行うなど、国有地を有効に活用して、早期の待機児童の解消に向けた取組に寄与。

3. 今後の東北財務局の対応

- 地方公共団体に対し引き続き、定期的に国有地の情報を提供するとともに、日頃より連絡を密に情報共有を図りながら国有地の有効活用に取り組んでいく。